

日本大気電気学会第103回研究発表会 プログラム



日程： 2025年 1月10日(金), 11日(土)
 会場： 静岡県職員会館もくせい会館第1会議室
 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1
 連絡先： 鴨川 仁(静岡県立大)
 Tel: 054-245-5600, E-mail: kamogawa@u-shizuoka-ken.ac.jp

日 程 表

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1月10日 (金)		雷・ 大気 電場	雷	昼食	ポスター I	総会			懇親会		
1月11日 (土)		エアロ ゾル・ イオン	ポスタ ーII	昼食	雷・ 気象	ポスタ ーIII					

注：発表者は○印で示され、学生(学部生、大学院生)の時には下線が付してあります。

第1日 1月10日(金): 第1会議室

セッション 1 雷・大気電場

10:00-10:45

座長 菊池博史 (電通大)

1. ○米田稔 (一般)
柿岡地磁気観測所における電界強度(V/m)と雷電流値(kA)の関係
2. ○小柳津由依, 柴崎俊明 (青山シビルエンジニアリング株式会社)
富士山周辺の雷解析
3. ○山下幸三(小松大), 藤坂浩史(藤坂技術事務所), 岩崎博之(群馬大)
地上静電界の多点計測に基づいた雷雲電荷推定(ダイポール電荷モデルの適用) (2)

休憩

10:45-11:00

セッション 2 雷

11:00-12:00

座長 山下幸三 (小松大)

4. ○秋田学 (電通大), 稲葉敬之 (稲葉レーダ技術ラボ, 電通大), 森本健志, 高柳裕次 (近大), 河崎善一郎 (阪大), Mohd Riduan Ahmad (Universiti Teknikal Malaysia Melaka), Farah Hani Bt Nordin (Universiti Tenaga Nasional)
広帯域干渉計による雲内電荷分布のリアルタイム3Dイメージング法
5. ○Muhammad Haziq Mohammad Sabri (Kindai, UTeM), Mohd Riduan Ahmad (UTeM), Yuji Takanagi (Kindai), Muhammad Zuhair Bolqiah Edris (UTeM), Takeshi Morimoto (Kindai), Zen-Ichiro Kawasaki (Handai)
Observations of Chaotic and Regular Pulse Trains in Positive Cloud-to-Ground Lightning Flashes in Malacca, Malaysia
6. ○高柳裕次, 森本健志 (近大), 秋田学 (電通大), 吉田智 (気象研), 河崎善一郎 (阪大), Wu Ting, Wang Daohong (岐阜大)
VHF帯広帯域干渉計で観測された夏季に発生したリコイルリーダの解析
7. ○Ting Wu, Daohong Wang, Qingliu Yang (岐阜大), David Smith (University of California, Santa Cruz), Yuuki Wada (阪大), Kazuhiro Nakazawa, Manari Oguchi (名大), Masashi Kamogawa, Tomoyuki Suzuki (静大)
冬季雷雲の最も強い負極性落雷: Energetic Compact Stroke (ECS)

昼食

12:00-13:30

ポスターセッションP1

13:30-15:00

座長 鴨川 仁 (静岡県立大)

8. ○遠藤真郁 (B4), 菊池博史, 芳原容英 (電通大), 牛尾知雄 (阪大)
高時間分解能を目的とした新型雨量計の開発とレーダ雨量の高精度化

9. ○花岡智和(B4), 菊池博史, 芳原容英(電通大), 牛尾知雄(阪大)
高時空間分解能降雨観測データとCNN及びLSTMによる豪雨予測手法の検討
10. ○吉澤虎太郎(B4), 菊池博史, 芳原容英(電通大), 吉川栄一(CSU/JAXA), 中村佳敬(神戸高専), 森本健志(近大), 牛尾知雄(阪大)
MP-PAWR および3次元雷標定装置を用いた放電点とレーダパラメータの関係
11. ○宮内教子(B4), 菊池博史, 芳原容英(電通大), 牛尾知雄(阪大)
MP-PAWR の高高度情報を用いた地上降雨短期予測手法の初期検討
12. ○黒岩理玖(B4), 菊池博史(電通大), 牛尾知雄(阪大)
固定型気象用二重偏波フェーズドアレイアンテナの初期検討
13. ○大内皓斗(M1), 芳原容英, Debrupa Mondal(電通大), Jeff Lapierre(Earth Networks)
令和6年7月山形県北部にて発生した線状降水帯に伴う豪雨とトータル雷の関連性の調査
14. ○鶴見 美和(D1), 榎戸 輝揚(京大), 一方井 祐子(金大), 辻直希(京大), Diniz Gabriel(京大), 篠田 太郎(名大), Ting Wu(岐阜大), Daohong Wang(岐阜大), 高垣 徹(ティーエーシー社), 三宅 晶子(岐阜高専), 中澤 知洋(名大), 森本 健志(近大), 中村 佳敬(神戸高専), 鴨川 仁(静岡県立大), 土屋 晴文(JAEA)
シチズンサイエンス「雷雲プロジェクト」による冬の日本海沿岸におけるガンマ線グローのマッピング観測
15. ○太田悠一郎(M2), 三浦健伸, 吉野千恵, 服部克巳(千葉大), 今住則之(日本技術士会千葉県支部)
機械学習を用いた雷放電VLF/LF帯電磁パルス同定の試み
16. ○高屋賢隆(M1), 森翔太, 高柳裕次, 森本健志(近畿大), 田尻貴浩(中部電力・近畿大)
VHF帯広帯域干渉計観測結果を用いた落雷の中和電荷量推定
17. ○森翔太(M1), 田中修平, 高屋賢隆, 高柳裕次, 森本健志(近畿大), 田尻貴浩(中部電力・近畿大)
VHF帯狭帯域電磁波による広域雷放電観測装置の開発
18. ○田尻貴浩(近大D1・中部電力), 高屋賢隆, 高柳裕次, 森本健志(近大)
帰還雷撃後の雲内放電進展様相

休 憩

15 : 00-15 : 20

総 会 : 15 : 20 - 16 : 20

懇親会 : 17 : 00 - 19 : 00

第2日 1月11日(土): 第1会議室

セッション 1 エアロゾル・大気イオン
座長 王道洪 (岐阜大)

09:30-10:30

19. ○三木健司 (電中研)
生物起源粒子が持つ GEC への影響度の概算
20. ○石井悠人 (一般), 三木健司 (電中研)
A Numerical Approach to the Amount of Charge washout by rain in Japan
21. ○森樹大, 奥田知明 (慶應大), 松木篤 (金沢大), 岩田歩 (気象研), 鴨川仁 (静岡県立大)
能登における粒子の帯電状態と大気電場との関係
22. ○藤原博伸 (NPO 法人富士山環境研究センター), 大河内博 (早大), 鴨川仁 (静岡県立大), 林修吾 (気象研)
首都圏で対地雷により生成される NO₂ の量の推定

休憩

10:30-10:40

ポスターセッション P2
座長 森本健志 (近大)

10:40-12:10

23. ○大谷響心 (M2, 日大), 鴨川仁 (静岡県立大), 山崎政彦 (日大)
津波起源電離圏電子密度パルス上昇検知による津波初期波高推定可能性の検討
24. ○曾根風紗 (M1), 山崎政彦 (日大), 鴨川仁 (静岡県立大)
地震先行現象検知を主目的とした地球電磁気観測衛星 PRELUDE の設計・開発
25. ○榎本健人 (B4), 笹沼千夏, 服部克己, 吉野千恵 (千葉大)
能登半島付近における地震に関連する電離圏異常の統計解析
26. ○笹沼千夏 (B4), 服部克己, 吉野千恵 (千葉大), 劉正彦 (台湾国立中央大)
NmF₂ を用いた地震短期予測の最適パラメータの検討
27. ○能口航一 (B4), 中田裕之 (千葉大), 細川敬祐 (電通大), 大矢浩代, 河村洋平 (千葉大)
SDR 受信機を用いた超小型 HF ドップラー観測器の開発
28. ○榎本陸登 (M2), 中田裕之 (千葉大), 細川敬祐 (電通大), 大矢浩代 (千葉大)
HF ドップラー観測と TEC 観測を用いた 2022 年台風 14 号に伴う電離圏擾乱の解析
29. ○有泉晴貴 (B4), 服部克己, 吉野千恵 (千葉大)
自然電位 (Self potential) トモグラフィーによる地下水動態モニタリングに関する研究
30. ○本郷美桜 (M1), 芳原容英, 津田卓雄, 菊池博史 (電通大)
全天カメラを用いた大気電界と天気の関係性

31. ○伊藤萌(M2), 芳原容英 (電通大), Alexander Shvets (O. Ya. Usikov Institute for Radio Physics and Electronics, Ukraine), 菊池博史 (電通大), 早川正士 (早川地震電磁気研究所)
2周波同時観測による地震に関連する電磁気異常の調査
32. ○板橋優樹(M2), 安藤芳晃 (電通大)
H-J法による3次元球座標系FDTD法を用いたVLF/LF帯大地-電離圏導波管伝搬の解析
33. ○佐波哲朗(B4), 安藤芳晃 (電通大)
VLF/LF帯電磁波の大地-電離圏導波管伝搬に関するWLP-FDTD法を用いたシミュレーション法の開発
34. ○野口遊瑚(M1), 片寄祐作 (横浜国立大), 日比野欣也 (神奈川大), 塩見昌司 (日本大)
宇宙線空気シャワーを利用した大気電場測定シミュレーション研究

昼食

12:10-13:30

セッション 2 雷・気象 座長 吉田智 (気象研)

13:30-14:30

35. ○梅原章仁, 吉田智, 林修吾 (気象研), 清水慎吾, 櫻井南海子 (防災科研), 山内洋 (気象研), 出世ゆかり (防災科研), 猪上華子, 南雲信宏 (気象庁)
二重偏波レーダー及び雷放電経路三次元観測システムにより捉えた下層正電荷の三次元微物理構造
36. ○岩下久人 (明星電気), 小林文明(防大), 諸富和臣・嶋村重治(日本無線), 樋口篤志・大矢浩代・鷹野敏明・高村民雄(千葉大)
POTEKA地上気象観測による2023, 2024年の突風観測結果報告
37. ○鳥居建男 (福島大/福井大), Mohd Riduan Ahmad (UTeM, マレーシア), Farah Hani Nordin (UNITEN, マレーシア), 森本健志 (近大)
全方位指向性検出器による雷起因の高エネルギー放射線源検出手法の開発
38. ○岩崎博之 (群馬大)
雷雨10年報とWLLNデータを用いた過去57年間の雷日数分布の変動

休憩

14:30-14:40

ポスターセッション P3 座長 工藤剛史 (音羽電機)

14:40-16:10

39. ○曾根風紗 (M1), 山崎政彦 (日大), 鴨川仁 (静岡県大)
電離圏におけるVLF帯電場強度変動の時系列モデルを用いた地震の予知・適中率の評価
40. ○松本寛輝 (M2, 阪大), 北原大地 (慶応大), 和田有希, 牛尾知雄 (阪大)
フェーズドアレイ気象レーダーにおけるテンソル信号処理を用いた干渉除去手法の検討

41. ○大谷拓光(M2), 和田有希, 牛尾知雄(阪大), 牛腸正則, 花土弘, 佐藤晋介, 川村誠治(NICT)
吹田 MP-PAWR によるドローン観測の実証
42. ○由良建人(M2), 広瀬民志, 和田有希, 牛尾知雄(阪大)
高分解能 GSMaP を用いた日本付近の雨域推定精度の事例検証
43. ○王燦(D3), 和田有希, 牛尾知雄(阪大), 林 修吾(気象研), V. Chandrasekar(CSU)
Observation of Radar-inferred Electric Field Evolution in an Isolated Thunderstorm
by dual-polarized phased array weather radar (MP-PAWR)
44. ○兜森幸平(M2), 芳原容英, 菊池博史(電通大), 高田則之, 白石智規(東京電力パワーグリ
ッド)
ELF 帯磁場観測ネットワークによる日本周辺の落雷位置及びエネルギー特性の調査
45. ○濱田英寿(M2), 芳原容英, 菊池博史(電通大), Amir Izzani Mohamed (UMP, Malaysia),
Chandima Gomes (University of the Witwatersrand, South Africa), 塩川和夫(名大 ISEE),
Jeff Lapierre (Earth Networks, USA)
東南アジアにおける落雷の電気的特性に関する統計調査
46. ○高田尚弥(M2), 王道洪, ウティン(岐阜大)
電磁放射パルスの特徴による冬季上向き雷検出の可能性
47. ○Qingliu Yang(D3), Daohong Wang and Ting Wu (Gifu University)
Observation of lightning initial bidirectional leaders
48. ○服部浩己(B4), 森樹大, 奥田知明(慶應大)
横浜における雷イベントに着目した粒子の帯電分布の変動メカニズム
49. ○寺坂桃(M2), 森樹大, 奥田知明(慶應大)
開閉平行板型帯電分級装置の開発と大気中帯電粒子の化学成分分析
50. ○大和久晃平(B4), 安藤芳晃, 津田卓雄(電通大)
静止軌道衛星による光散乱観測データを用いた PMC の高度および散乱光強度の季節変動

■ 講演者へのお願いとご案内

- (1) 講演申し込み多数のため1件の発表時間は15分としました。発表12分、質疑応答3分で御発表下さい。時間超過のないようご協力お願いいたします。
- (2) 当日は会場に発表用PCを用意します。Windows/Power Point で作成したファイルを各種媒体でご持参下さい(休憩時間に各自で準備してください)。
PC持込も可です(心配な方は各自のPCをご持参下さい)。
- (3) ポスター発表は、セッション開始前に指定の場所にポスターをお貼りください。ポスターサイズは最大でA0縦の大きさで作成お願いします。ポスターセッション終了後は速やかに撤去をお願いいたします。
- (4) 大気電気学会誌原稿はホームページへアップロードして下さい。
講演者は「大気電気学会誌」の原稿(1頁ないし2頁)のワードファイルとPDFファイルをホームページへアップロードして下さい。

1. 締切り：令和7年2月7日(金)
2. フォーマットは学会ホームページからダウンロードしてください

■ 参加費徴収のお知らせ

以下の通り研究発表会当日，受付にて参加費を徴収します。

正会員：5,000円

学生会員：不要

非会員：一般：7,000円 学生：3,000円

賛助会員：5,000円

シニア：3,000円 ※リタイアされた会員。自己申告です。

名誉会員：不要

【お願い】 当日の受付をスムーズに行うため，参加費のお支払時にはお釣りが出ないように，予めご準備いただきますようご協力をお願いいたします。

賛助会員名簿 (五十音順)

現在までに入会されている賛助会員は下記の通りです。本会への賛助に対し、深く感謝申し上げます。本会では賛助のご好意にお応えするため、「大気電気学会誌」に広告を無料掲載することとしております。広報担当運営委員, 工藤 剛史 (音羽電機工業株式会社)
Email: journal@saej.jp, Tel: 06-6429-5059, Fax: 06-6429-0206)までお申し込み下さい。

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 種子島宇宙センター
音羽電機工業株式会社
株式会社応用気象エンジニアリング
株式会社フランクリン・ジャパン
バスタ技研株式会社
明星電気株式会社